

ホメオパシーと流行性疾患

ロータスホメオパシーセンター

代表 金澤 千佳

※無断転載・利用を固く禁じます



流行性疾患とは？

- ◆ ヒポクラテスは、最初に「戦争、干ばつ、飢饉、湿気、そして風さえも流行性の病気役割を演じている」と気がついた人
- ◆ 病気は、人類もしくはその土地の健康に大きな変化がある時に起こる

流行性疾患

- ◇ 生息条件の変化が病気をもたらす
 - ① 旅行
 - ② 密集した生活
 - ③ 清潔の不足
 - ④ 高いストレス
 - ⑤ 貧しい食事内容
 - ⑥ 睡眠不足
 - ⑦ 社会的相互作用の不足

歴史における流行性疾患

- ◆ 感染症や流行性の病気は、軍隊によってもたらされることが知られている
- ◆ 1812年にナポレオンは、ロシア征服のために60万人の兵士を連れてフランスを出発。この征服は失敗に終わるが、22万人の兵士を流行性のチフスで失った
- ◆ 1918-1919のスペイン風邪
 - i. 世界中で5000万人から1億人が死亡
 - ii. アメリカ人675000人または人口の7%がインフルエンザ(肺炎)で死亡

病気の広がり

- ◆ 今日、病気は、移動が簡単になったことで急速に広がる
- ◆ 香港でくしゃみをすれば、12時間後にはそれが流行性のものとしてアメリカに辿り着く
- ◆ より大きな都市と素早い移動が地域的にも地球全体にも流行を引き起こしやすい

ホメオパシーと流行性疾患

- ◆ ホメオパシーの有効性の最も注目せずにはいられないエビデンスは流行病の時に広範囲に亘り記録されている
 - i. 流行病の最中のホメオパシー的治療による文献は結果的に非常に豊富なものとなった
 - ii. これまでに少なくとも1万件の参考文献が見つかり、サポートしている

文献の主な発見は...

- ◆ 結果的に流行病においてホメオパシーは絶えず非常に低い死亡率を明らかにしている

流行病における死亡率

©ロータスホメオパシーセンター

流行病名	ホメオパシーの死亡率	従来の治療による死亡率
腸チフス 1813年 ドイツ	1.1% (180ケース)	30%以上
コレラ 1831年 ヨーロッパ	7%-10%	40%-80%
コレラ 1854年 ロンドン	9%	59.2%
黄熱病 1878年 ニューオリンズ	5.6% (1945ケース)	50%
ジフテリア 1862-1864年 ニューヨーク	16.4%	83.6%

ホメオパシーと流行性疾患 コレラ inオハイオ 1849

- ◆ 二人のホメオパスは、2646ケースに対応し、死亡は35ケースのみ、死亡率は1.3%
- ◆ これに対してシンシナティの保健省は、従来の医療を受けた人の半数が死亡と発表している

ホメオパシーと流行性疾患 悪性のジフテリア 1859-1862

- ◆ フィラデルフィアの3人のホメオパスが300ケースの極めて悪性のジフテリアに対応したが、死亡者は一桁台
- ◆ 一方、従来の医療の対応では、半数の50%の死亡率

1918/1919 世界的流行病 スペイン風邪におけるホメオパシー

- ◆ オハイオの病院での5万ケース：
 - i. 従来の医療の28.2%が死亡
 - ii. ホメオパシ治療の1.05%が死亡
- ◆ フィラデルフィアでの26,795ケースでのホメオパシー治療：
 - i. 死亡率は1.05%
 - ii. 従来の医療は、同じ町での同時期で30%
- ◆ コネチカットの6,602ケースがホメオパシー治療を受け、
 - i. 55人の死亡、死亡率は1%以下

すべてのホメオパシー治療を受けた中での合併症はホメオパシーを使った患者の死亡率は7%と報告している

肺炎

- ◆ 当時、インフルエンザや悪性の風邪で亡くなる時は、肺炎の合併症によるものが**98%**
- ◆ 従来の医療の発達にも関わらず、今日もなお、死亡の原因は肺炎である、先進国でさえも
- ◆ 現代における肺炎による死亡率は、従来の医療において**13.7%**

市中感染による肺炎の死亡率の比較

©ロータスホメオパシーセンター

治療方法	患者数	回復者数	生存率	死亡合計	死亡率
抗生物質以前の 対処療法	148,345	112,272	75.7%	36,073	24.2%
見守る	379	299	78.8%	80	21.1%
現代の従来医療	33,148	28,607	86.3%	4541	13.7%
ホメオパシー	25,208	24,343	96.6%	865	3.4%

ホメオパシーの予防的対応

- ◆ コレラは非常に高い死亡率でおよそ50%だった
- ◆ 1831年にコレラのホメオパシー薬が予防的に処方された
- ◆ 病気の拡大を防ぐ試みで特定の地域のための特定の流行で見られる症状を集めたものをベースに選ばれた
- ◆ 何百万の人々が、この治療のおかげでこの後の数十年間恩恵に預かった
- ◆ たくさんの人々がコレラに罹らなかった、さらに病気の間それぞれが治療を受けていたこれらの患者の死亡率は2%

ホメオプロフィラクシス

- ◆ 1874/75、ブラジルであった髄膜炎菌性髄膜炎の流行
 - i. 25万人が病気になる
 - ii. 1万千人以上が死亡
 - iii. 75,000人が脳の後遺症を負った
- ◆ 街では18,000人の子どもがホメオパシーレメディを一度処方されたが、予防としてレメディを処方されたグループは髄膜炎になるのが7倍以上少なかった

2007年のキューバでの流行性疾患「レプトスピラ症」におけるホメオプロフィラクシス

- ◆ 人口は3地方で2400万人
- ◆ 2100万人が予防的ホメオパシーレメディを処方される
- ◆ この地域でレプトスピラ症に罹ったのは、処方されなかった地域の84%も低かった

ホメオパシーの処方

- ◆ ホメオパシーの処方を成功させるか否かは、あなたの下記の認知能力にかかっています
 - i. 感染している患者の個々の反応を見分ける
 - ii. 特定の身体組織への感染のケースで見られる共通の症状
- ◆ それぞれの特徴のある疾患をどれだけ認知できるかが成功を決める

具体的な処方

- ◆ 二つのよく知られている、レメディキットには必ず入っているレメディ
 - i. Gelsemium
 - ii. Lycopodium

流行性疾患とホメオパシー アドバンスコース

- ◆ 二つのレメディの特徴(流行性疾患に対する)
- ◆ ケースマネージメント(経過観察のポイント)
- ◆ ポーテンシーの使い方(低いポーテンシー、高いポーテンシーの違い)
- ◆ 飲み方
- ◆ 一般的ガイドライン

LINEからnoteご覧の方のみの 限定販売

- ◆ 講座：オンライン配信（動画と資料配信）
- ◆ 参加費：2500円（5/1日までの特典価格）
- ◆ 申し込み：LINEに本名ご明記の上、返信にて申し込みください
- ◆ 有料講座ですが、視聴期限は1ヶ月とさせていただきます（すぐに視聴して役に立てて欲しいとの願いからです）